

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1136
施設名	きたひだまり保育園
施設所在地	国立市北3-4-2-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触 2歳児 「春雨①」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・夏にたくさんの感触遊びを行い、感触を楽しむ子が多かったので使ったことのない春雨を使って感触遊びを行った。
- ・春雨ってなあに？食べ物？
- ・固い、いい匂い 細いねという声が出ていた。

2. 活動スケジュール

令和6年11月～令和7年3月まで

子どもから自発的に〇〇したい！やってみたい！という要望があったときや雨天時日中の活動の中で子供の様子を見ながら行っていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・白い春雨では固いだけの感触だったのでお湯で湯がいて食紅を使い4色の色を付けた春雨を用意する。
- ・興味を持って遊びたい子が多く集まると想定し机を2つに分け、入れ物を多く用意しておく。
- ・麺に似ていることから料理ごっこが始まると想定したので、近くにままごとからもってきていたお鍋、お皿、フォーク、包丁など道具が取りやすいように置いておく。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・春雨とはどういうものなのかみんなで話し合い感想を言う。
- ・湯がく前と湯がいた後の触感を確かめてみる。
- ・湯がいた後に色付けをする。
- ・実際触って好きなように遊んでみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・冷たい、気持ちいい、キラキラしていて綺麗、スパゲッティみたいおいしそうとの意見。
- ・水を入れてみたい→全員で行くと混雑することを考慮し個別の対応をする。→色水が出てきたことに驚く。
- ・ビニール袋が欲しい、→袋の上からの感触が触りたかったのか入れることも楽しんでいる。
- ・ままごとの包丁を持ってきて切ってみる→ママと一緒に！
- ・カップに様々な色を混ぜて保育者に渡す→お味噌汁作ったからどうぞ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・初めは興味から何をするのかわからずにやりたいと言って集まってきていた子どもたちだったが、実際に春雨を見たり、触ったりしたことで普段触ったことのない感触を楽しむ姿があり、感触を楽しむことから母親の真似やごっこ遊びなどにつながっている姿が見られた。

・4色の色を作って分けておいたが、1つの色を大事に使う子や4色混ぜて楽しむ子などそれぞれの楽しみ方があった。

食べる真似をするのが多いかと思いフォークも用意したが混ぜたりくるくると巻き付けたりと、食べる真似をする子は予想していたほどあまり見られなかった。

ままごとの玩具を子供たちの近くへと置いていたことで自分の好きなものを選んで春雨遊びを発展している姿があった。

・次回は一度触ったことのある遊びを出すと同じようにするとすぐに飽きてしまうことが予想されるので、次は色のついていない春雨を準備し、子どもたちの好きな色を聞いてその場で染めてみたり、色が見やすいように透明のカップや紙皿など普段使用しないものを出して春雨そのものにもっと興味を持ってもらえるようにしていきたい。